

①助産学専攻科

② 入試区分

助産学専攻科（学内推薦）

③ 出題科目

母性・小児看護学

④ 出題の意図

本試験では、助産師としての社会的視野と制度的理解を評価し、母子保健に関わる制度・統計・保障の知識を実践に活かす力を問う問題と母性看護学および小児看護学の基礎的知識を問う問題とした。更に、事例を通して、妊娠期・分娩期・新生児期と3カ月の乳児期の基本的知識を問う問題とした。

本学の出題の意図として、母性・小児看護学の基本的知識の獲得状況を確認することを目的としている。

2026 年度 助産学専攻科 学内推薦入学試験 問題
母性・小児看護学

受験番号_____

I. 母性保護の制度について () の中に当てはまる語句を記入しなさい。

- ① () 法・・・産前 6 週間（女性が請求した場合）、産後 8 週間は女性が請求せずとも休業させてはならない。
- ② () 法・・・3 歳未満の子供を養育する労働者が希望する場合事業主は 1 日の所定労働時間を原則として 6 時間まで短縮する措置を講じる。
- ③ () 法・・・母子保健の規定による保健指導・健康診査を受ける時間の確保を事業主に義務づけている。

II. 人口動態について間違っている記述を選び、記号に○をつけなさい。

- ① 令和 5 年の平均初婚年齢は、夫 31.1 歳、妻 29.7 歳で夫婦ともに前年と同年齢である。
- ② 令和 5 年の出生数は、前年度より微増し約 80 万人である。
- ③ 乳幼児健康診査は、母子保健法に基づいている。
- ④ 令和 5 年の合計特殊出生率は 1.20 である。

III. 産科医療補償制度について正しい記述を 2 つ選び、記号に○をつけなさい

- ① 日本国内において、病院・診療所の加入率は 100% である。
- ② 2022 年 1 月 1 日以降、在胎週数 22 週以上で出生した場合、補償対象となる。
- ③ 新生児期の要因（分娩後の感染症等）は補償対象となる。
- ④ 補償請求者（保護者）が分娩機関に対して補償申請を行うことができる期間は子どもの出生から満 5 歳の誕生日までである。
- ⑤ 産科医療補償制度は、産科医不足の改善や産科医療提供体制の確保を背景に、より安心して産科医療を受けられる環境整備の一環として、創設された。

IV. マタニティブルーズについて最も適切な記述を 2 つ選び、記号に○をつけなさい。

- ① マタニティブルーズは褥婦の 30～50% が経験する。
- ② マタニティブルーズは疲労や睡眠不足とは関係がない。
- ③ マタニティブルーズは産後 2～4 週後に症状がみられ、2 週間以上持続する。
- ④ 「自分はダメな母親である」という自責感がつよい。
- ⑤ 産後のホルモン分泌の変化などによる生理的な変化である。

V. 性周期とホルモンについて、(①) から(⑩)中に当てはまる語句を記入しなさい。

卵巣周期には(①))と(②))があり、月経周期の(①)に、下垂体前葉から(③))が分泌され、その刺激によって卵巣で卵胞が発育を始める。卵胞の発育と共に卵の成熟も起きる。成熟しつつある卵胞からは(④))が分泌され次第に増加する。卵胞と卵の成熟状態が十分になると(④)の分泌がピークとなる。その翌日、下垂体前葉では(⑤))の急上昇が起こる。これを(⑥))という。(⑥)開始から(⑦) ~)時間後に排卵がおこる。(②)では、排卵後の卵胞は(⑧))を形成し、(④)と(⑨))を分泌する。

排卵によって排出された卵子と、子宮内に侵入した精子が受精することによって妊娠が成立する。受精は(⑩))部で行われる。

VI. 分娩について、①～⑫は当てはまる語句を記入、⑬～⑯はどちらかを選択し○をつけなさい。

早産は妊娠(①) 週 (日)～(②) 週 (日)を指し
正期産は妊娠(③) 週 (日)～(④) 週 (日)である。
分娩の3要素とは(⑤)) (⑥)) (⑦))である。
最終月経の初日が2025年10月4日の場合、ネーグレの換算法で分娩予定日は、
(⑧) 年 (月) (日)になる。
分娩第一期とは分娩開始から(⑨))までの期間である。
分娩第二期とは⑨から(⑩))までの期間である。
分娩第三期とは⑩から(⑪))までの期間である。
児頭は、分娩時に(⑫))という一定の変形をし、回旋運動をしながら通過しやすい体勢をとる。
第1回旋は(⑬) 胎勢 ・ 胎向)回旋、(⑭) 横軸 ・ 縦軸)回旋である。
第2回旋は(⑮) 胎勢 ・ 胎向)回旋、(⑯) 横軸 ・ 縦軸)回旋である。

VII. 新生児期における原始反射について()に当てはまる語句を記入しなさい。

- ① 正常な新生児の手掌にものがふれると、強く握りしめてくるのは()反射と呼ばれる。
- ② 仰臥位の乳児が自発的あるいは他動的に頭を一側に回したとき、顔を向けた側の上下肢が伸展、多側の上肢が屈曲するのは()反射と呼ばれる。
- ③ 大きな音の刺激で両手を広げ、抱きかかえるような動きをするのは()反射と呼ばれる。
- ④ 両腋窩を支えて立位にさせ、足底を床に触れさせると下肢を交互に屈曲させ歩行するような動作をするのは()反射と呼ばれる。

VIII. 次の A さんの事例を読み、【問 1】～【問 7】に答えなさい。

A さん（30 歳、事務職員、初産婦）は夫（31 歳、会社員）と二人暮らしである。デスクワーク以外にイベントへの参加などで忙しく過ごしている。9 月 24 日に月経の遅れがあり、近所の産婦人科を受診した結果、妊娠と診断された。身長 160 cm、非妊時体重 62.0 kg である。

【問 1】 A さんは、「イベントで飲酒する機会があります。日常ではコーヒーをよく飲みます。半年前から友人の勧めで 1 日 240 μ g の葉酸のサプリメントを飲んでいますが。」と話されています。あなたなら妊娠中の生活や体重の管理についてどのような支援をしますか。

A さんは、妊娠 40 週 2 日午前 1 時頃から下腹部に生理痛のような痛みを感じ性器出血も認めた。午前 2 時ごろから 10 分毎の定期的な痛みが発来し入院した。午前 8 時に子宮口 4 cm 開大していた。助産師は適宜、胎児心拍陣痛図（CTG）を装着し経過を観察している。

A さんは午後 1 時 30 分に破水後子宮口全開大となった。その後、午後 2 時 30 分に 3000 g の男児を娩出し、午後 2 時 45 分に胎盤が娩出した。分娩直後、母体の体温 37.1 度、血圧 100 / 60 mmHg、脈拍 98 回 / 分であった。分娩時出血量は 700ml であった。

【問 2】 胎児心拍陣痛図（CTG）について、（ ）に当てはまる語句を記入しなさい。
胎児心拍陣痛図（CTG）は（① ）と（② ）をあらわす。正常範囲の胎児心拍数基線は、（③ ）～（ ）bpm の範囲にある。

【問 3】 A さんの分娩について①に当てはまる語句を記入、②、③はどちらかを選択し○をつけなさい。

A さんの分娩所要時間は（① ）時間（ ）分であり、（② 正常である ・ 正常を逸脱している ）。

分娩直後の出血量は（③ 正常である ・ 正常を逸脱している ）と考える。

【問 4】産褥 1 日目の A さんの子宮復古状態で正常でないものはどれか。記号に○をつけなさい。

1. 後陣痛がある。
2. 赤色悪露がみられる。
3. 子宮底の高さが臍下 2 横指である。
4. 子宮底が軟らかく不明瞭である。

【問 5】生後 3 日目新生児のバイタルサインは、体温 37.3 度、呼吸数 42 回／分、心拍数 126 回／分、皮膚に黄染がみられた。

早期新生児の生理的黄疸について正しいものはどれか。記号に○をつけなさい。

1. 皮膚の黄染は腹部から始まる。
2. 生後 24 時間以内に出現し始める。
3. 新生児は生理的多血である。
4. 便が灰白色になる。

母児共に退院され、生後 3 か月の時期に乳児健診のため A さんは赤ちゃんと共に来院した。赤ちゃんの体重は 6.0 kg、身長 60.0 cmであった。A さんは母乳のみで育児している。

【問 6】A さんの赤ちゃんの成長について正しい記号に○をつけなさい。

1. カウプ指数は 20 である。
2. この時期の身長 of 发育速度は一生で最大である。
3. 母乳だけでは栄養不足である。
4. 体重は出生時の 3 倍になる。

【問 7】生後 3 か月の正常な発達について正しい記号に○をつけなさい。

1. 乳幼児身体発達調査（2010）では、生後 3 か月の 90%に首のすわりがみられる。
2. ピアジェの認知発達段階では前操作期の段階である。
3. 追視はみられない。
4. 喃語の発声が盛んになる。

2026 年度 助産学専攻科 学内推薦入学試験 解答

母性・小児看護学

I

①	労働基準
②	育児・介護休業
③	男女雇用機会均等

*②③は略式名称

II

②

III

① ⑤

IV

① ⑤

V

①	卵胞期	⑥	LH サージ
②	黄体期	⑦	34～36
③	卵胞刺激ホルモンまたは FSH	⑧	黄体
④	エストロゲン	⑨	プロゲステロン
⑤	黄体化ホルモンまたは LH	⑩	卵管膨大

VI

①	22 週	0 日	⑨	子宮口が全開大する
②	36 週	6 日	⑩	胎児娩出
③	37 週	0 日	⑪	胎盤娩出

④	41 週 6 日	⑫	心形機能
⑤	娩出物	⑬	胎勢
⑥	娩出力	⑭	横軸
⑦	産道	⑮	胎向
⑧	2026 年 7 月 11 日	⑯	縦軸

* ⑬～⑯は正解に○

VII

①	手掌把握
②	緊張性頸
③	モロー
④	自動歩行

VIII

【問 1】	身長・体重から体重増加の目安 食生活指針より妊娠中の食事についての指導 タバコ・カフェイン・飲酒の害 妊娠初期の葉酸摂取の目安 妊娠初期の過ごし方 等についての回答が得られていれば正解とする	
【問 2】	①胎児心拍数 ②子宮収縮圧または陣痛 ③110 ～ 160	* ②③は正解に○
【問 3】	①12 時間 45 分 ②正常である ③正常を逸脱している	
【問 4】	4	
【問 5】	3	
【問 6】	2	
【問 7】	4	